

熊本県阿蘇家畜保健衛生所

〒869-2612 阿蘇市一の宮町宮地2639-1

TEL 0967-22-0041 FAX 0967-22-4612



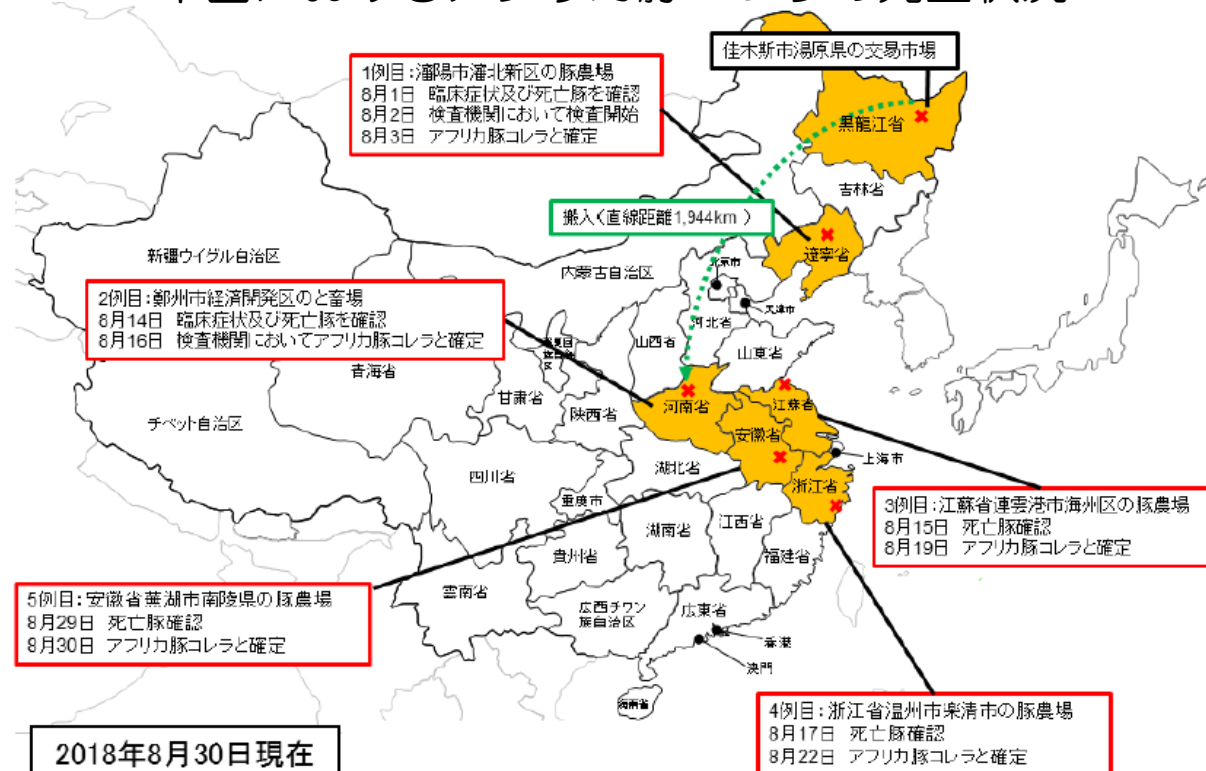
中国でアフリカ豚コレラの発生が確認されました！！

アフリカ豚コレラは、アフリカ豚コレラウイルスが豚やいのししに感染する伝染病であり、発熱や全身の出血性病変を特徴とする致死率の高い伝染病です。

本病に有効なワクチンや治療法はなく、発生した場合、畜産業界への影響が甚大なことから、患畜・疑似患畜の速やかな届出及びと殺が義務付けられています。

我が国は、これまで本病の発生が確認されていませんが、世界的には2007年にロシアで発生が確認されて以降、徐々に拡大し、ついに2018年8月、中国で確認されました。

中国におけるアフリカ豚コレラの発生状況



(引用：農林水産省 消費・安全局動物衛生課HP)

つきましては、以下の発生予防対策の重要ポイントを参考にいただき、アフリカ豚コレラの防疫対策に万全を期されますようお願いいたします。

人・物・車両によるウイルスの持込み防止

- 衛生管理区域、豚舎への出入りの際の洗浄・消毒の徹底
- 衛生管理区域専用の衣服、靴の設置と使用の徹底
- 人・物の出入りの記録
- 飼料に肉を含み、又は含む可能性があるときは、あらかじめ摂氏70度・30分間以上又は摂氏80度・3分間以上の加熱処理を徹底

野生動物対策

- 飼料保管場所等へのねずみ等の野生動物の排せつ物等の混入防止
- 豚舎周囲の清掃、整理・整頓
- 死亡家畜の処理までの間、野生動物に荒らされないよう適切に保管

放牧事故を防ぎましょう！！

阿蘇地域では放牧が盛んに行われ、肉用繁殖牛の低コスト生産だけではなく、雄大な草原景観の維持に欠かせません。

一方で、放牧に慣れない牛や、草が少なくなる時期に、草を求めて危険な場所まで入り込み、滑落して死亡するなどの事故が昨年度は22件発生しています。中には、分娩事故により親子で死亡が発見される事例もあります。以下の点に注意して、事故を未然に防ぎましょう。

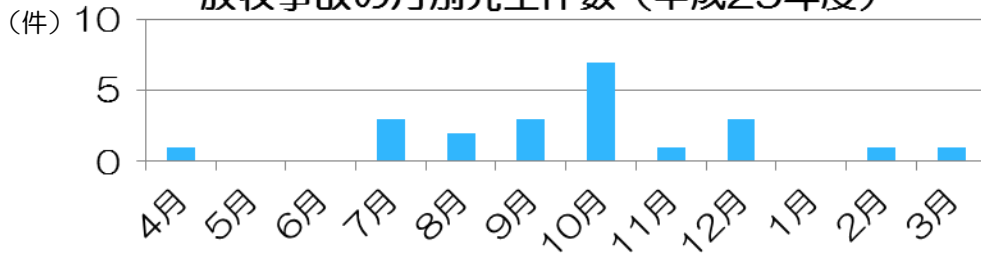
また、48か月齢以上の死亡牛については、BSE検査が必要です。万が一、放牧事故が発生した際には、阿蘇地域振興局農業・普及振興課への早期通報をお願いします。

- ・放牧馴致を行いましょ
- ・定期的な危険箇所の確認と牧柵などの対策を行いましょ
- ・分娩2か月前には下牧させましょ
- ・しっかりと牛の観察を行いましょ



急な斜面を落下して死亡したと推測される
(平成29年9月の事例)

放牧事故の月別発生件数 (平成29年度)



近隣諸国における悪性伝染病発生情報

病名	型	発生地(国)	畜種	発生年月日
高病原性 鳥インフルエンザ	H5	台湾(7件)	採卵鶏、肉養鶏、あひる	平成30年1月12日 ～6月26日
	H5N2		採卵鶏、肉用あひる、地鶏	平成30年7月18日 ～8月13日
	H5	ロシア(13件)	家禽	平成30年7月19日 ～8月5日
	H5N2			平成30年8月9日
口蹄疫	O型	中国(3件)	豚、牛	平成30年8月8日 ～8月18日
アフリカ豚コレラ		中国(4件)	豚	平成30年8月1日 ～8月17日

※OIE情報

平成30年9月1日時点



毎月20日はくまもと家畜防疫の日

韓国や台湾など近隣諸国では依然として悪性家畜伝染病が発生しています。地域全体で衛生水準を上げる事が重要です。

防災情報や家畜伝染病発生情報を配信しています。
下記アドレスもしくは右のQRコードより、登録用ホームページへ！

<http://www.anshin.pref.kumamoto.jp/>

